

学校名	佐賀市立南川副小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上については、佐賀県調査において県の水準に並び越えることを目標とし、校内研究による授業改善を柱として基礎学力の定着を徹底・継続する。 ・特別支援学級が増えることから、児童一人一人の課題の改善と将来的な自立に向けて、自立活動の計画や個別の指導計画の作成等を行う。困り感を持った児童を早期に発見し、手立てを講じるためにも、特別支援教育についての保護者や地域の理解は必要不可欠である。 ・長期にわたる不登校児童への対応を中心に、校内でのケース会議や必要に応じて関係機関と連携したチームでの対応を行う。また、にこにこアンケートや教育相談週間等を通して、未然防止にも努める。
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	自分を磨く子どもの育成 ～ 自ら学び 心豊かに たくましく生きる南っ子 ～
----------	-------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を磨く (①主体的・対話的で深い学びへ ②指導力の向上 ③時代が求める課題への対応) ・豊かで多様な感性を磨く (①豊かな心と多面的考え方の育成 ②特別支援教育の充実 ③特別活動) ・健やかでたくましい心身を磨く (①健やかな体とたくましい心づくり ②安全・防災教育 ③生徒指導・児童理解)
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の実態からマイプランを作成する。研修会で取組の有効性を評価し、必要に応じて改善する。 ・年に3回実施する「家庭学習ががんばろう週間」において、家庭学習目標設定時間を達成できるような手立てを各学年で考える。
	○校内研究の充実	○1年～3年は、CRT国語の結果を全国標準値以上にする。4年～6年は、学期末の市販の業者テスト(国語)において、結果を平均値以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業を中心に「こぼれ集め」に取り組みせ、語彙力の向上を図る。 ・スキルタイムにおいて、文字を早く正確に書く練習や文章読み取りの方法を身に付けさせる。 ・読書習慣を読む力の育成に生かすことができるよう、発達段階に合わせて読み聞かせや読書記録の蓄積に取り組み。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートを実施し、(生命尊重、親切・思いやり、規律の尊重、善悪の判断等)肯定的な回答85%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業づくりの研修やQUTESTの校内研修を6月に実施する。 ・毎週木曜日を道徳教育の日として、人権教育や道徳の充実を図る。 ・ふれあい道徳での授業実践を学級通信を通して、家庭に知らせ連携を図る。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ問題には、必ず、管理職を交えた組織で対応し、今年度発生したいじめ問題は、未解消件数を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施するアンケートで、児童の気になる言動や様子を把握し、連携会議において職員間で共通理解を図る。 ・認知した事案については、指導や謝罪が済んだ後、複数の職員で一定期間(3カ月以上)見守り、解消させる。
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童80%以上にする。 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、教師が全校児童の良いところを見つけて、「きらり賞」として放送で紹介し、自己肯定感を高める。 ・将来の夢やそのための手立てを書いたカードを常時学年掲示板に掲示し、毎月第4木曜日に自己評価をする機会を設ける。
	○不登校の未然防止	○「学校がとても楽しい」「学校が楽しい」と思うことができる児童を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・にこにこアンケートを毎月実施し、児童の実態を把握する。その上で、児童への聞き取りを行い、適宜、家庭やSC等との連携を図る。 ・SCによる授業を全学年で実施する。
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で210分以上の児童生徒75%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会に企画させ、定期的に休み時間をつかって外遊びを進める活動に取り組みさせる。 ・学期に一度アンケートを実施し、児童の運動習慣についての実態を把握する。その上で、学級だよりや懇談会等で保護者にも周知を行い、児童の運動習慣について見直しを促す。
	○「望ましい生活習慣の形成」	○「早寝・早起き・朝ごはん」「8時登校」ができる児童を、90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活振り返り週間」において、重点取り組みの中に「早寝・早起き・朝ごはん」と「8時登校」を設定する。またアンケート結果を学級だよりや懇談会で活用し、家庭との連携により、児童に望ましい生活習慣の形成を促す。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(月45時間以内)を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、出勤後にその日の帰宅時刻を設定し、計画的に業務に取り組み。 ・毎週金曜日の定時退勤日や学期末特別校時を設ける。
	○教職員の負担感の軽減	○学校評価及びストレスチェックなどのアンケートで、「積極的な協力体制ができている」「働きやすい職場の雰囲気がある」について肯定的な回答を90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・3部会(生活、心づくり、体づくり)の中で、部長を中心として協力体制を確立させる。 ・生活指導、教育相談に係る諸問題の解決に、チームで取り組み、負担感の軽減を図る。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○特別支援教育	○特別支援教育の更なる推進	○学校評価(保護者アンケート)で、特別支援教育の取組に対する保護者の理解度を85%以上にする。 ○外部講師を招聘し、支援を要する児童への理解、指導及び支援の在り方並びに環境づくり等について研修会を1回以上行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式やPTA総会、月に1回発行する特別支援教育に関する通信等で保護者や地域への啓発を図る。 ・「校内支援会議」で、全職員の共通理解を図り、指導・支援を行う。 ・保護者や関係機関と連携しながら就学支援へとつなげていく。
○教職員の資質向上	○教職員の資質向上	○服務規律違反を0(ゼロ)にする。 ○職員アンケートにおいて、「指導方法の改善に努めている」と回答した割合を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律、教職員としてのマナー等について講師を招聘し、研修会を行う。 ・月に1回「ゼロの日」の取組。 ・研究授業を核として、日々の授業の充実を図る。